トラクタ

取扱説明書

GX511ET



ご使用前に必ずお読みください
身近なところに大切に保管してください

本取扱説明書はホイールトラクタ（GX511 型）との異なる点のみをまとめて説明しています。その他の項目は［GX371 ～ GX511 の取扱説明書］をご覧ください。

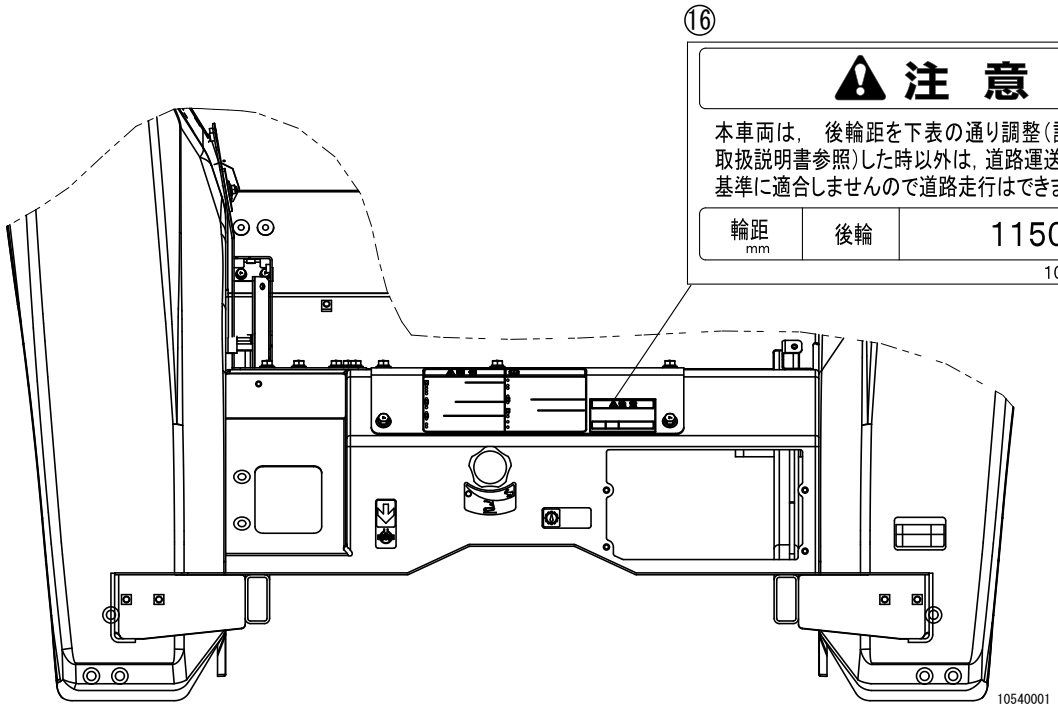
安全作業のために

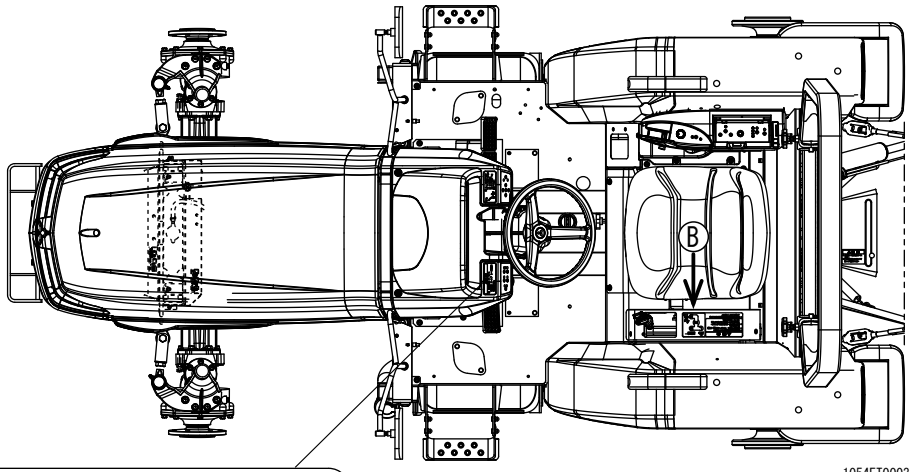
2. 表示ラベルについて

このトラクタには各運転装置の近くに各々の安全な取扱い方について説明している**「表示ラベル」**が貼り付けてあります。各々のラベルの説明をよくお読みいただき，注意を守って操作ください。

また，トラクタに貼ってあるラベルが破損したりして読めなくなった場合やラベルの貼ってある部品を交換する場合は新しいラベルを**「お買いあげ先」**に注文して購入し貼り替えてください。

ここで説明する表示ラベル以外のものはＧＸトラクタ本機の［安全作業のために］の［2. 表示ラベルについて］で説明しています。





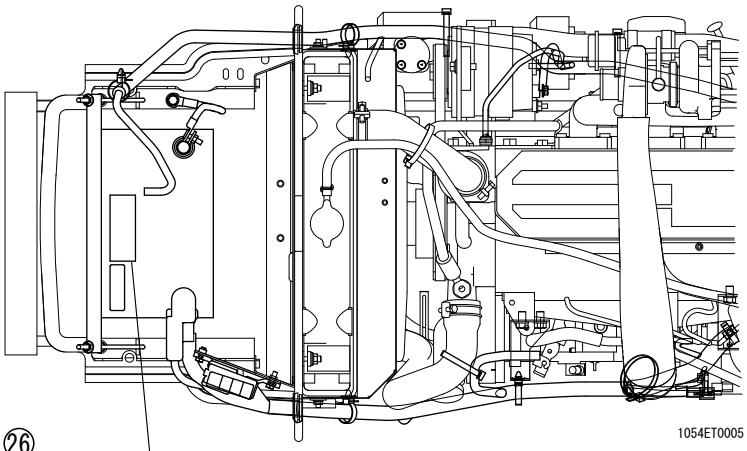
1054ET0003

㉕

⚠ 注 意

■ 公道では倍速旋回は使用出来ません

10548759000



1054ET0005

㉖



火気厳禁メガネ着用こども禁止 硫酸注意説明書熟読爆発注意

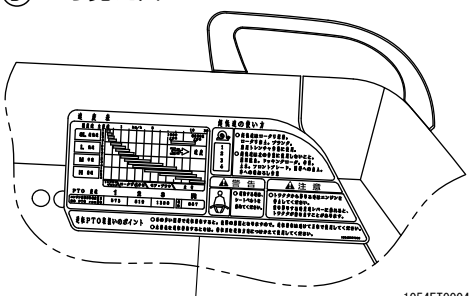
⚠ 危険

- 水素ガス発生、取扱いを誤ると引火爆発の恐れあり
- 充電は風通しのよいところで行う。(充電時火気厳禁)
  ショートやスパークをさせない。
- バッテリー液(硫酸)で失明ややけどの恐れあり
  液がついたらすぐに多量の水で洗い、目の場合は医師の治療を受ける。
- バッテリー液注入済(横倒し厳禁　液漏れ注意)
- 急速充電厳禁 ●開封厳禁(密封タイプ)

09603000020

密封タイプ

Ⓑから見た図



1054ET0004

㉗

速 度 表

副変速　主変速

SL 超低速
L 低速
M 中速
H 高速

PTO 変速　1　2　3　肉

超低度の使い方

- 超低度はロータリ深耕、ロータリ細土、プランタ、農用トレンチャ作業に使用。
- 超低度は次の作業に使用しないこと。湿田脱出、ドッキングロータ、牽引、土木、フロントブレード、圃場への出入、車への積おろし作業

⚠ 警 告

運転をする時は、シートベルトを締めてください。

⚠ 注 意

トラクタから降りる時はエンジンを停止してください。
乗り降りする時変速レバーに触れるとトラクタが動き出すことがあります。

逆転PTO取扱いのポイント

- 石の多い圃場で逆転耕耘すると、故障の原因となりますので、逆転耕耘は避けて正転で使用してください。
- 未耕地を逆転耕耘するときは、耕耘刃を逆転方向につけかえて使用してください。

10548767000

警告ラベル一覧表

No.	部 品 番 号	品 名
16	1037 2766 001	LABEL CAUTION(輪距)
25	1054 8759 000	LABEL CAUTION(倍速)
26	0960 3000 020	LABEL BATTERY(バッテリ)
27	1054 8767 000	LABEL SPEED(エンジン停止・シートベルト)

ご使用まえに

2. 仕様（装備）について

主な仕様（装備）は次のようになっています。

お買い上げの製品の仕様（装備）をお確かめのうえ，まちがいのないように活用してください。

品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行なうことがあります。その際には，本書と内容および写真・イラストなどの一部が，本製品と一致しない場合がありますのでご了承ください。

仕様	名称			三菱GX511
	区分			ET
	エンジン	エンジン形式		S4Q2-T11A
		エンジン出力kW(PS)		37.5 (51)
	ステアリング	パワーステアリング		○
		チルトハンドル		○
		倍速旋回		○
	PTO機能	標準		○
	変速	ギヤ		○
	油圧制御	b－mac		○
	2柱フレーム			○
	タイヤ	標準ハイラグ	前輪	8-18
			後輪	12.4-28

※本仕様にはオートブレーキ旋回，コーナーライトは装備されていません。

運転のしかた

2. 運転操作のしかた

各項目の操作手順に従って行なってください。

1. エンジンの始動と停止

⚠警告 傷害事故防止のために

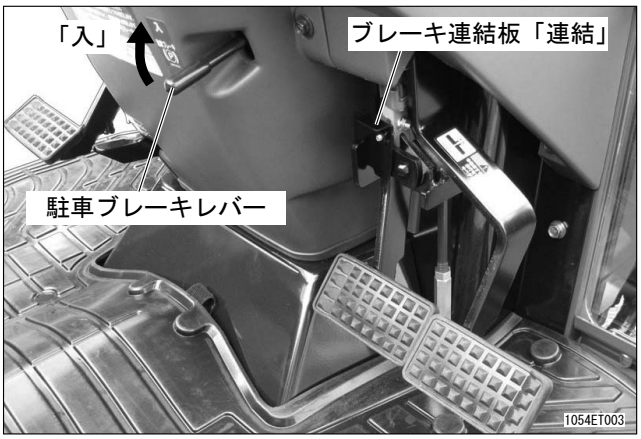
◆安全フレームをおこしてください。
◆ステップの左側から乗降してください。
◆点検などで取外したカバー類は全て取付けてください。カバーがないと衣服が巻込まれたりしてけがをすることがあります。
◆トラクタに乗車する前に，トラクタの外周を見て回り，異常がないことを確認してください。
◆主変速,PTO 変速レバーを「《N》(中立)」にし，駐車ブレーキをかけてから，エンジンを始動してください。
◆エンジンの始動，発進する時は，周囲の人に合図をしトラクタや作業機のまわりから人を遠ざけてください。
◆エンジンの始動はシートに座って，シートベルトをしめてから行なってください。
◆屋内での始動は窓や戸を開けて換気をよくしてください。
◆トラクタや作業機に子供等，人や物を乗せないでください。
◆暖機運転は主変速，PTO 変速レバーを「《N》(中立)」にし，駐車ブレーキをかけてから行なってください。

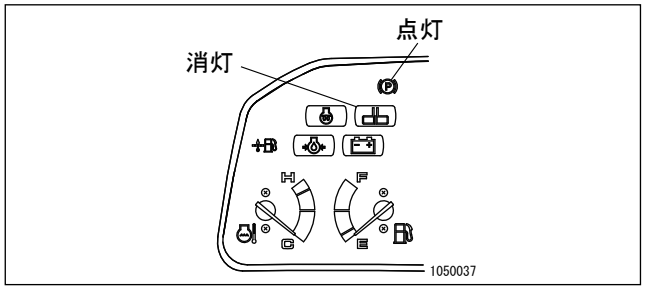
❶ エンジン始動のしかた

(1) 左右のブレーキペダルを連結し，ブレーキペダルを強く踏込み駐車ブレーキレバーを上方に押し上げてブレーキをかけます。

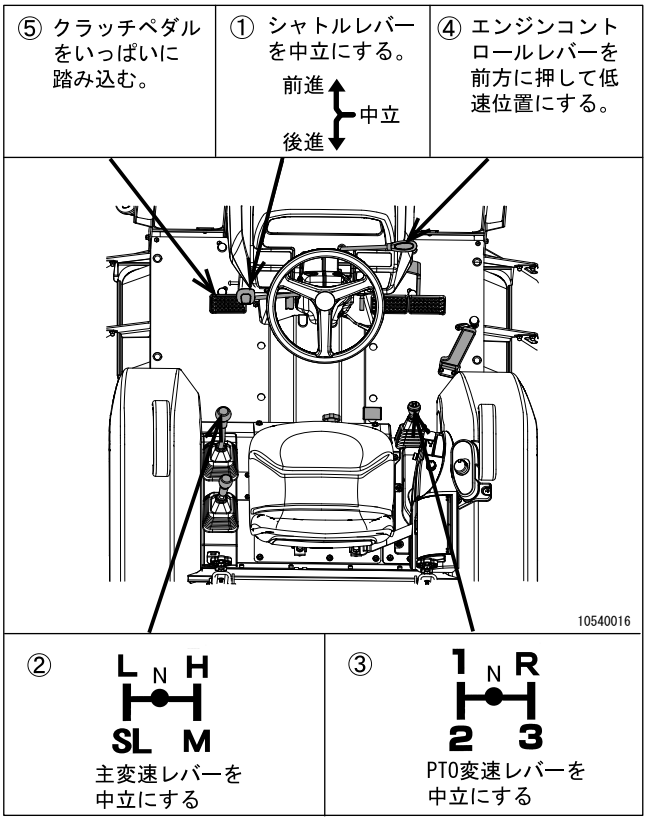
・駐車ブレーキを解除する時は，ブレーキペダルを強く踏込めば外れます。

スタータスイッチ「入」時，駐車ブレーキをかけるとメータパネルの（Ⓟ）ランプが点灯します。





(2)

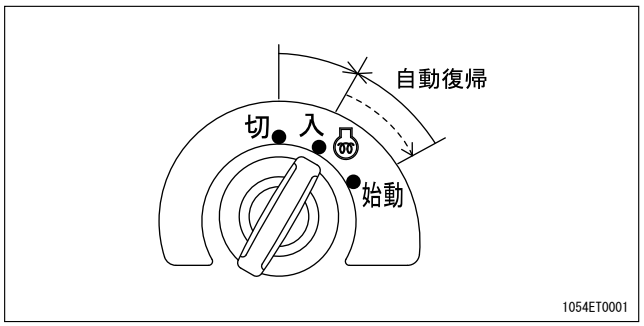


取扱いのポイント

●始動安全スイッチが装備されており，クラッチペダルを踏込まないと始動できないようになっています。

(3) スタータスイッチを《 入》にすると ランプ, ランプ, ランプが点灯します。

●スタータスイッチ



・《切》(停止)

キーをこの位置にすると電源が切れエンジンが停止します。

キーの着脱ができます。

・《 入》(予熱)

キーをこの位置にするとメータ内のグローランプが点灯し，エンジンが予熱されます。

予熱が完了するとグローランプが消灯しますので始動操作をします。

グローランプ点灯時間…６秒

・《始動》

キーをこの位置にするとエンジンが始動します。

エンジン始動後手を放せば自動的に《 入》にもどりエンジンが運転状態になります。

作業のしかた

2. 作業に必要な装置の使いかた

1. トレッドの調節のしかた

⚠警告 傷害事故防止のために

◆けん引作業・傾斜地での作業などの場合は，輪距を広くして使用してください。
怠ると転倒による傷害事故を起こすことがあります。

◆公道は指定輪距（シートの下のカバーに道路走行上の注意として指定輪距を貼付しています）で走行してください。



⚠注 意

本車両は，後輪距を下表の通り調整（調整要領は，取扱説明書参照）した時以外は，道路運送車両の保安基準に適合しませんので道路走行はできません。

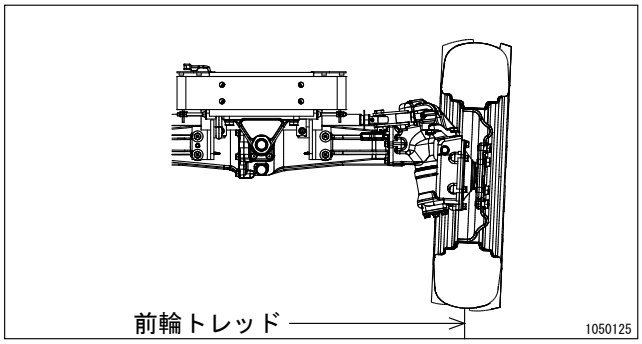
輪距 mm	後輪	1150

10372766001

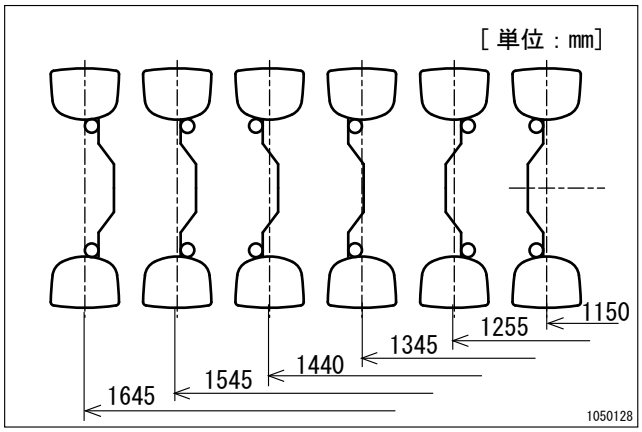
後輪トレッドは左右タイヤの入替え，またはリムとディスクの組替えにより行います。但し，前輪のトレッド調節はできません。公道を走行するときは，指定輪距（※印）にします。

区　分	タイヤサイズ		駆動方式	調節段数		前輪トレッド(mm)		後輪トレッド(mm)		備　考
	前輪	後輪		前輪	後輪	※最小(指定輪距)	最大	※最小(指定輪距)	最大	
511ET型	8-18	12.4-28	4駆	1	6	1220	－	1150	1645	

・前輪



・後輪



●タイヤホイル締付トルク

[ボルト]

前輪……220 ～ 250 N・m（22 ～ 25kgf・m）

後輪……220 ～ 250 N・m（22 ～ 25kgf・m）

[ナット]

後輪……152 ～ 172 N・m（15.5 ～ 17.5kgf・m）

●リムとディスクの締付トルク

後輪……196 ～ 215 N・m（20 ～ 22kgf・m）

取扱いのポイント

●トレッド調節する時はタイヤラグの方向を間違えぬようにしてください。
（後方より見て「ハ」の字になるように）



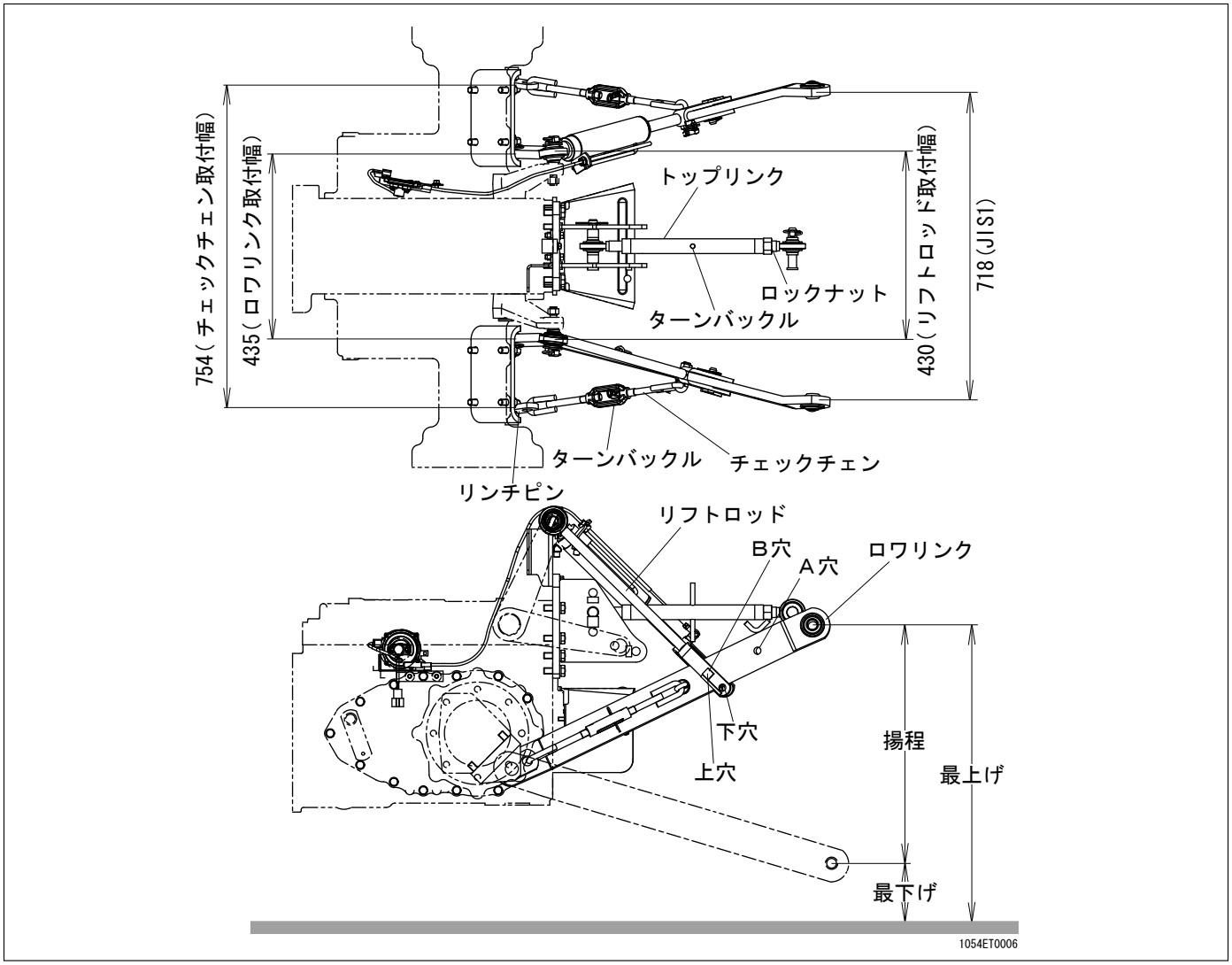
●トレッド調節後は適正な工具を使用して確実にボルト・ナットを締付けてください。

2. 3点リンクの取付け寸法の設定のしかた

３点リンクに作業機を取付ける時は作業機に応じて最も適した位置に取付けます。作業機ごとに寸法を指定しておりますので**「作業機の取扱説明書」**を参照してください。

❶ リフトロッド，トップリンクの長さの調整範囲は次の通りです。

・リフトロッド右（標準機）およびトップリンクの調整は，リンチピンを外し，ターンバックルを回して調整します。調整後リンチピンを取付けます。



❷ **ロワリンク後方目玉の地上高**

		機　種	511ET型	
		ロワリンク	B穴	A穴
リフトロッド	上穴	最上げ	831	使用不可
		最下げ	256	
		揚　程	575	
	下穴	最上げ	761	844
		最下げ	164	359
		揚　程	597	485

手入れのしかた

2. 給油・給脂・給水のしかた

1. 給油・給脂・給水表

種別	No.	個所	種類	分類		容量(L)	交換時期	参照ページ
				APIサービス分類	SAE粘度番号			
全型式	①	エンジンクランクケース	エンジンオイル	CF級(またはCF-4, CH-4級)	10W-30	6.8	作業前点検・100時間ごと交換(初回点検時50時間で交換)	94～95
	②	燃料タンク	軽油	−	−	55	作業前点検(必要量補給)	96
	③	ラジエータ	冷却水	−	−	8.1	作業前点検(必要量補給)	98～99
	④	トランスミッションケース	ギヤオイル	GL−4	80W [75W-80W]	44	初回100時間、後は200時間ごと交換	100
	⑤	フロントアクスルケース	〃	GL−4	80W	6.5	〃	101
	⑥	ブレーキリンク(左・右)	グリス	−	−	適量	作業前点検・50時間ごと給脂	102
	⑦	ロッドエンド…4個所	〃	−	−	〃	〃	102

●エンジンオイル……三菱農機純正油
　またはディーゼルエンジンオイル　API 分類CF 級（またはCF-4, CH-4 級）
●燃　　料……ディーゼル軽油　JIS ２号（－ 10℃まで）
　JIS ３号（－ 15℃まで）
　JIS 特３号（－ 15 ℃以下）
●ギ ヤ オ イ ル……ギヤ車：三菱農機純正油
　または API 分類 GL －４級以上, SAE・80W のオイルで湿式ブレーキ適正のあるもの

※使用オイルの詳細は「GX371 ～ GX511 の取扱説明書」の 136 ページ「潤滑油について」を参照してください。
※参照ページの　部は「GX371 ～ GX511 の取扱説明書」のページを示します。

4. 各部の点検と調整のしかた

11. バッテリの点検と充電

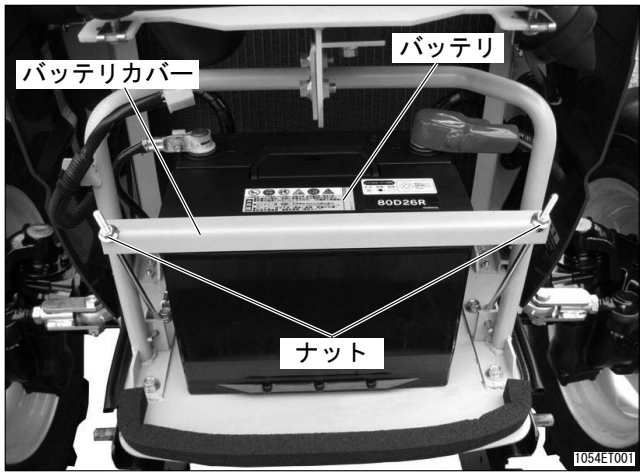
⚠危険 ヤケド，火災，傷害事故防止のために

◆ブースタケーブルを使用する時は取扱説明書の「ブースタケーブルの使いかた…」に従い手順を守って行なってください。
● ブースタケーブルは 100 A以上の仕様のものを使用する。
● ブースタケーブル接続前にエンジンを停止する。
◆⊕端子と⊖端子を間違えないようにしてください。
◆バッテリは，充電する時引火性の強い「水素ガス」を多量に発生し，「引火爆発」を起こすことがあります。「火気」を近づけたり，「スパーク」による電気火花が発生しないようにしてください。
◆充電する時は機械からバッテリを取り外してください。
◆バッテリを「着脱」する時は，エンジンを停止し，キーを抜取ってください。
◆「水素ガス」が滞留しないよう風通しのよい場所で充電をしてください。
◆バッテリを充電する時は，液口栓をすべて取り外してください。
◆バッテリ液は，希硫酸で劇毒物ですのでこぼさないようにしてください。バッテリ液で失明やヤケドをすることがあります。
◆充電の時「バッテリ液」が飛散することがあるので眼鏡などで目を守り，衣服や皮膚に付着しないようにしてください。
◆バッテリ液が目，皮ふ，被服物についた時はすぐに多量の水で洗い，飲み込んだ時はすぐに多量の飲料水を飲んでください。目に入った時や飲み込んだ時は医師の診断を受けてください。

❶ 点検

(1) ボンネットをオープンし固定します。
(2) フロントグリル上方のノブボルト（２個）を緩めます。
(3) フロントグリルと配線（ハーネス）を接続しているコネクタを分離します。
(4) フロントグリルを斜め上方に持ち上げ，外します。
(5) ナット２個を緩めて，バッテリカバーを取り外し，バッテリの残存容量と液量を確認します。

指定バッテリ……80D26R



取扱いのポイント

● この機械は出荷時には補水が不要なバッテリが装備されています。

付　　表

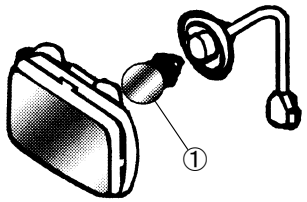
1. 主要諸元

名称			三菱GX511
型式			三菱GX510
区分			ET
車両型式名			三菱KDN-GT51A
駆動方式			４輪駆動
機体寸法	全長（ロワリンク先端）(mm)		3270<3520>
	全幅(mm)		1510
	全高（ハンドル上端）(mm)		2375<1590>
	最低地上高(mm)		365
機体質量(kg)			1770
エンジン	形式名		S4Q2-T11A
	種類		水冷４サイクル４気筒ディーゼル
	総排気量 (L{cc})		2.505{2505}
	出力／回転速度 (kW{PS}/rpm)		37.5{51}/2600
	使用燃料		ディーゼル軽油,JIS２号,３号,特３号
	燃料タンク容量 (L)		55
	バッテリ (V･Ah)		80D26R　(12･55)
走行部	タイヤ	前輪	8-18-6PR
		後輪	12.4-28-6PR
	軸距 (mm)		1970
	輪距	前輪 (mm)	1220
		後輪 (mm)	1150～1645(6段)
	クラッチ形式		乾式単板
	ブレーキ形式		ディスク式(湿式)
	かじ取方式		パワーステアリング(全油圧式)
	変速方式		同期かみ合式
	変速段数		前進16段,後進16段
	走行速度 (km/h) (最高速度)	ギヤ 前進	0.25～27.22(31.93)
		ギヤ 後進	0.21～22.74(26.68)
	最小旋回半径 (m)		2.8
PTO	回転速度(rpm)	正転	573,819,1328
		逆転	867
	軸径 (mm)		35(６スプライン)
作業機昇降装置		制御方式	ポジションコントロール
		装着方式	３点リンク１形

※この仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗部品

3. 電装関係



見出番号	部　品　番　号	部　品　名　称	定格	形　　状
1	0980　8123　509	前照灯	12V35/35W	 1054ET0002

3. アタッチメント一覧表

アタッチメントについてのお問い合わせは，三菱農機㈱営業本部へお問い合わせください。